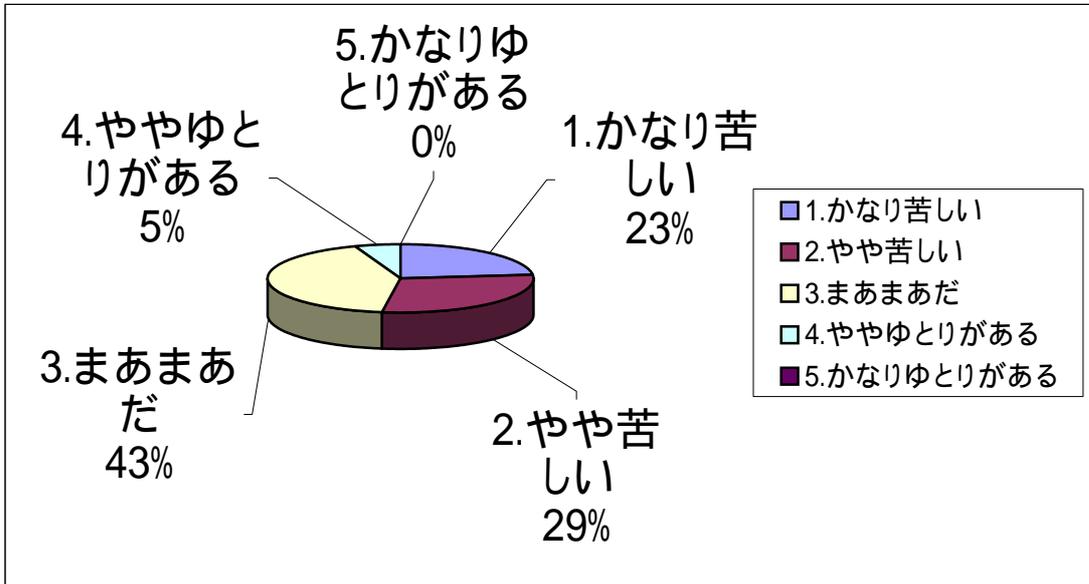


申し入れ(別紙)

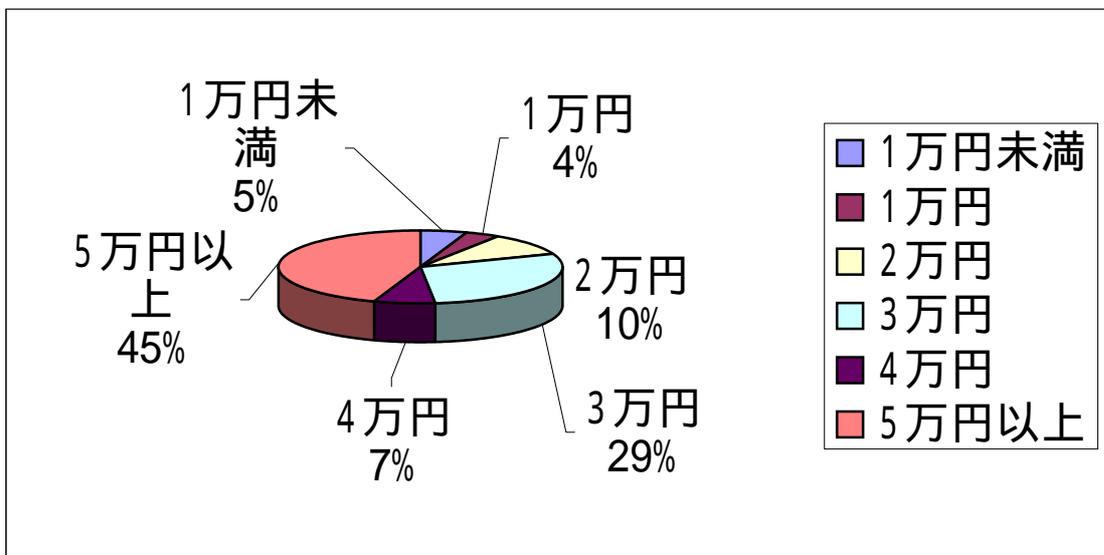
生活実感について

- ・やや苦しい、かなり苦しいが過半数を超えている。
- ・ゆとりがあるは0%、ややゆとりを加えても5%である。



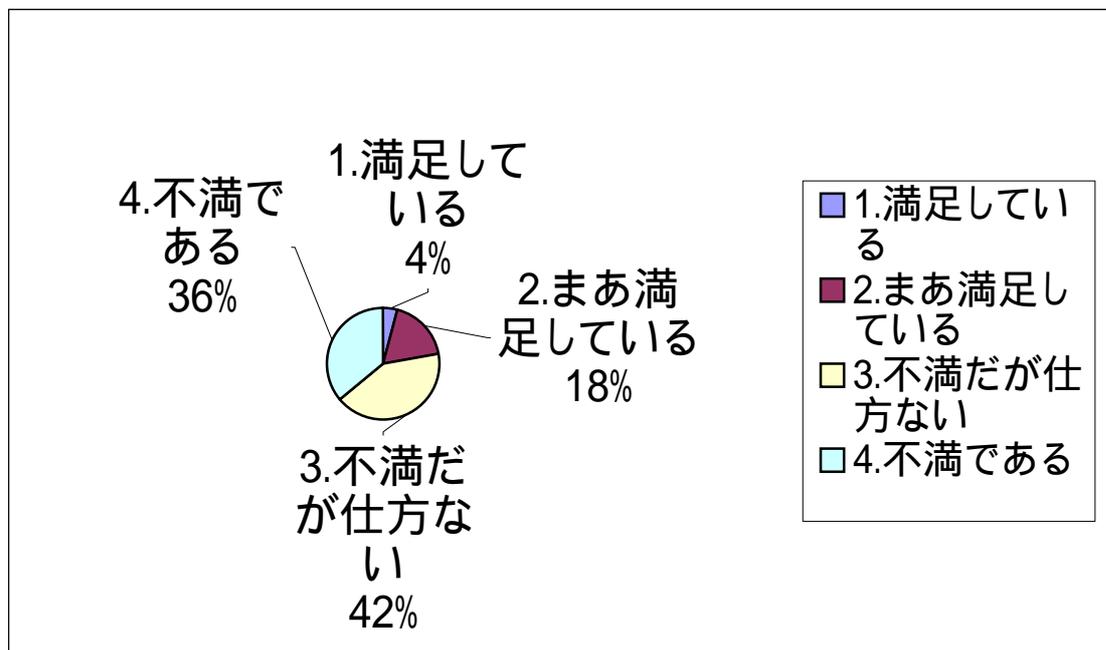
生活に必要な月額について

- ・2万円～3万円と答えたのは全体の39%。
- ・4万円～5万円と答えたのはは52%に達した。
- ・1万円以下と答えたのは、わずか9%に過ぎない。



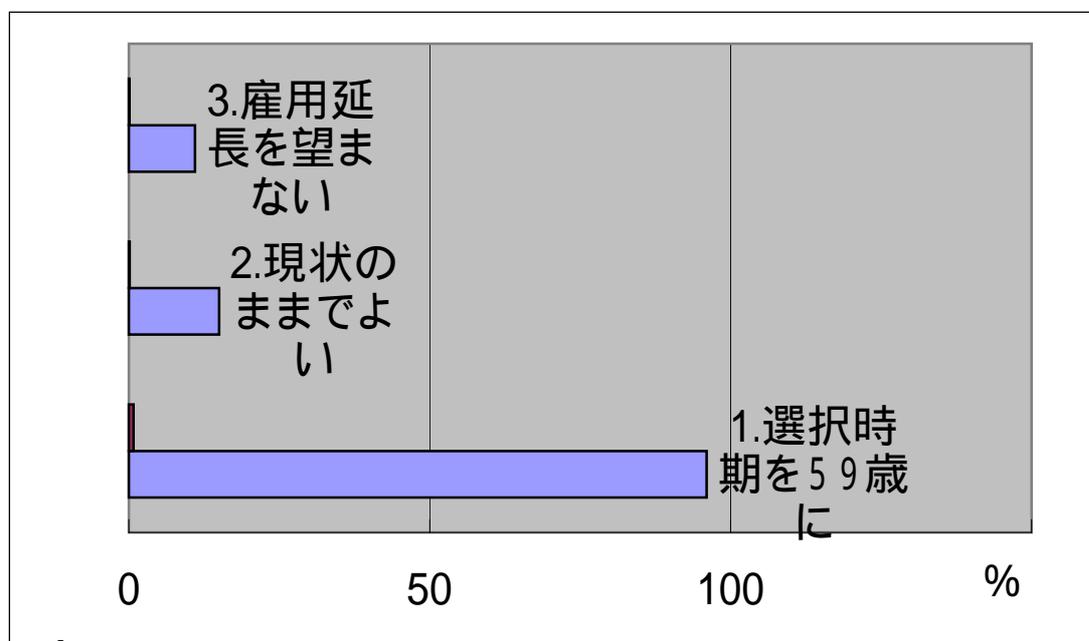
2007年春闘賃上げへの満足度

- ・不満、不満だが仕方がないと答えたのは78%に達し、**大多数が不満を表明**。
- ・満足、まあ満足と答えたのは22%。



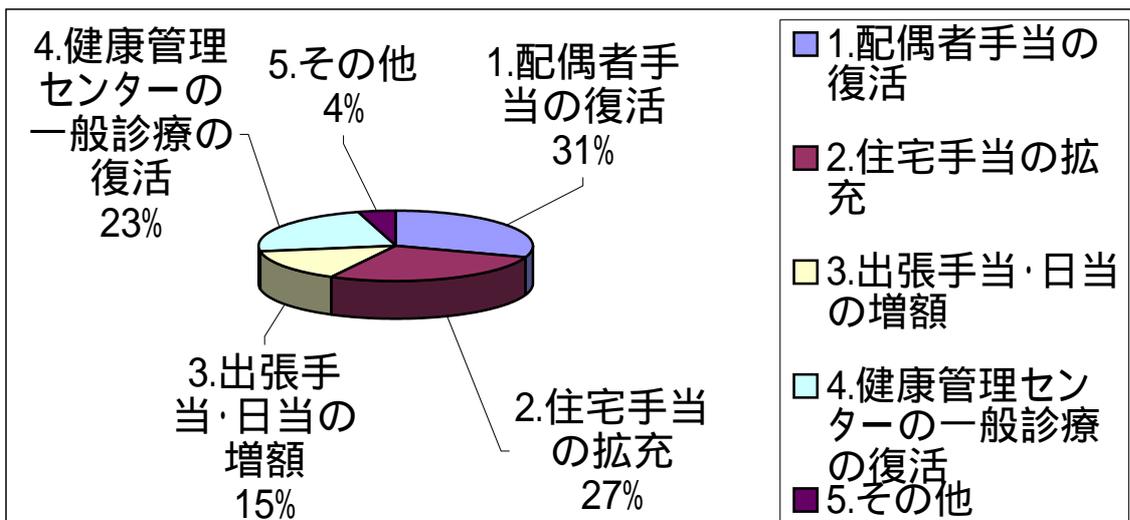
雇用延長について

- ・雇用延長の**選択時を59歳**と答えたのは**96%**で**大多数**。(ほぼ全員)
- ・雇用延長を望まないの回答はわずか**11%**。



復活・拡充してほしい諸制度

- ・回答要求の1位は配偶者手当、2位は住宅手当で過半数を超えている。
これは、現在の収入金額では不足であるということの現れと見て取れる。
また、生活実感、生活に後いくら必要かという問への回答に裏づけされた要求と推測できる。
- ・社内診療所の一般診療の復活要求は47%と約過半数に達することから、強い要求であると理解できる。
- ・出張手当・日当の増額の要求は30%であり、強い改善要求と理解できる。
- ・その他4%の中には、子供の扶養給の更なる拡大(20,000/人程)、育児制度の拡充(手当で・休暇)、出産手当の拡充、一人の収入で一家4人生活している。
こどもが高校に行き生活が大変、40才以降も住居手当を支給してほしい、通勤費は一番安い費用で支払われているが、安さを求めると何回も乗りすぎ時間がかかる場合があるので改善求む。など様々な意見・要求が寄せられている。



毎月の平均残業時間

回答者から裁量労働適用者(=Vワーク適用者理解)を抽出。

- ・Vワーク手当で相当の20H以下は28%と約3割。
- ・一方、超過申請書提出に該当する21H以上は7割に達した。
Vワーク適用者と言えども長時間残業を行っているという事実が分かる。
また、Vワーク適用者の7割が超過申請をしているのかは疑問。

